

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年5月25日

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---------|---|-----------|--|
| 事業所番号 | 3490101064 | | |
| 法人名 | 株式会社ニックス | | |
| 事業所名 | グループホーム金太郎 | | |
| 所在地 | 〒732-0045 広島県広島市東区曙一丁目1番20号 電話：082-506-0294 | | |
| 自己評価作成日 | 令和5年3月31日 | 評価結果市町受理日 | |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490101064-00&ServiceCd=320&Type=search |
|-------------|---|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|-------|----------------------|
| 評価機関名 | 一般社団法人広島県シルバーサービス振興会 |
| 所在地 | 広島市南区皆実町一丁目6-29 |
| 訪問調査日 | 令和5年5月8日 |

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

| |
|--|
| 利用者一人ひとりが先の楽しみ、生きがいを持てるようにスタッフと話し合い実行しています。また、本人のペースに合わせて支援するように心掛けています。 |
|--|

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

| |
|--|
| 法人理念「相手本位の心」を忠実に心掛け取り組んでいる。支援において常に相手の立場で考えること、自分に置き換えて考えていくことを推奨し実践しており、利用者本位の支援を実現している。ケアや介護計画も利用者の目線に立ち、したいことや何ができるかを考え思いに寄り添い取り組んでいる。コロナ禍にて外に出る活動が行えないことに対し、事業所の中でできるようにと職員の発案により、今年度は神社の鳥居を大きく作成し、事業所の中で初詣の参拝ができるように取り組んでいる。その他も七夕行事にて食べたいものを短冊に書いてもらい希望のものを提供したり、誕生会の開催などイベント性を意識し楽しめる生活を考え取り組んでいる。職員間では言葉掛けや接遇などお互いに意識し合えることや話しやすい関係性があり働きやすい職場風土を構築している。 |
|--|

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1Fユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|--|---|--|---|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 | 地域のグループホームであることを大切に意識し日々の活動に取り組んでいる。コロナ渦以前はボランティアの方をお呼びし交流があったが、現在は交流が出来ていない。5月より徐々に再開していく予定です。 | 法人理念を休憩室に大きく掲示し、出勤時の確認を習慣化し、ミーティングにて適宜確認している。現在、法人では「心のこもったもてなし」を重要視しており、おもてなしの精神が大事であることを意識している。それをもとに利用者本位の支援を行うことを職員全員で話し合い取り組んでいる。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | コロナ渦以前は、地域のイベントに参加させて頂いていた。こちらも5月より再開していく予定です。 | 開設時よりコロナ禍の状況にて、地域との交流はほとんど行えていない。今後は近隣の保育園との交流やお寺のイベントに出向くこと、町内に同法人のグループホームが行っている地域に開いた夏祭り行事を協力して行うなど、地域との交流や多様にある社会資源との連携を検討している。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | コロナ禍により地域の方々と直接お会いする事がなくなり出来ていない。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 運営推進会議は開催出来ていないが、活動状況報告書をお配りしている。 | 新型コロナウイルス感染症対策のため、開設時より書面での開催が継続している。資料として行事や活動報告、感染症対策の取り組みについてなど、日々の現状を周知している。全家族にも資料を送付している。今年度は6月より対面での開催を予定している。 | 現在、書面での開催であるが、活動などをまとめた資料の配布のみになっており、各関係者の意見が得られていない状況があります。意見を聴取できる方法を検討し、各関係者の情報や意見が集約し共有でき反映していけるような形式にて行えることを期待します。 |
| 5 | 4 | ○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。 | 報告書により、施設の状況を説明する様にしていく。 | 運営推進会議の資料や事故報告書を市に提出している。介護保険に関して運営上の解釈などを適宜担当者に確認するなど関係性を築いている。市や地域包括支援センターからは研修案内が届き、適宜参加をしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1Fユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>身体拘束が必要かどうかを考え、個人の判断では身体拘束をしない様にしている。</p> | <p>年2回の研修と3か月毎に身体拘束適正化委員会を定期的に開催している。実際の声かけや事例をふり返り、身体拘束についての知識や理解を深めている。スピーチロックに関しても全員が意識しあい、気付きは職員ノートを用いて共有し、より良い対応や丁寧な関わりに努めている。</p> | |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> | <p>虐待についての研修や、ミーティングを行っており、職員全員理解している。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p> | <p>成年後見制度について学ぶ機会を設けていなかった。</p> | | |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | <p>利用者や家族の疑問点には、理解と納得いただけるまで説明している。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>電話や面会時にご意見、ご要望等はお伺いし、必要な事は改善に努めている。</p> | <p>家族には、定期的、或いは変化時に連絡を行い利用者の様子を伝えている。家族の声が聴きたいとの要望時は、電話にて双方の安心に繋げている。七夕時には短冊に食べたい物を個々に書き、イベントやレクリエーション時に実現させる等、楽しみながら実現に繋げられるよう取り組んでいる。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1Fユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p> | <p>ミーティングや個別での面談を含め、聞く機会を設け少しずつではあるが反映されている。</p> | <p>毎月のミーティングや年2回管理者との面談があり、管理者は日頃現場に入ることも多く常に話をし検討することができている。職員それぞれの考えや意見、思いを表出しやすく反映に繋げている。希望休や有給休暇など勤務も柔軟に調整を行うなど働きやすい環境づくりが行われている。</p> | |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p> | <p>代表者または上司が直接職員の意見に耳を傾けて、職場環境の改善を行って頂いている。</p> | | |
| 13 | | <p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> | <p>社内研修の開催やスキルアップ支援を行って頂いている。</p> | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p> | <p>外部の研修参加に対して補助を出して頂いたりと支援して頂いている。</p> | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p> | <p>事前に本人、ご家族様から要望を聞き対応し、職員に周知を測っている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1Fユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p> | <p>事前のモニタリングや施設見学で実際に施設をご覧頂き、不安解消に努めている。</p> | | |
| 17 | | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p> | <p>ケアマネジャーを含めて事前に支援を確認し、その都度必要な支援を受けれる様に対応している。</p> | | |
| 18 | | <p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p> | <p>日常生活において、出来る事は共に行って頂いている。</p> | | |
| 19 | | <p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p> | <p>家族からの要望に対して管理者を通じて職員に報告し、日々の様子を定期的に連絡している。</p> | | |
| 20 | 8 | <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p> | <p>コロナ禍で外部との関りが難しかったですが、3月より面会を再開出来たことでとても喜ばれている。</p> | <p>開設時よりコロナ禍であり人との交流が難しい状況であるが、家族とは電話で話をしたり、手紙の返信や受診時には馴染みの地域を車で回ることなど利用者の生活をもとに繋がり継続をサポートしている。友人からの連絡に電話での会話を繋げ、この4月に面会も行えた事例がある。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1Fユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | 気の合う方や、出来る事が同じペースの方の座席配置にし、協力し合える様に努めている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | サービス終了後に支援を行う事はなかった。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 利用者の思いをケアカンファレンスで行い、職員間で共有しケアに努めている。 | 日々の日常生活の中で会話を重要視し大切にしている。行きたいところや食べたいものなど気軽な会話から汲み取ることや、家族への確認もふまえて職員で共有しながら実現できるよう検討している。職員は自分に置き換え、相手の立場で考える視点を持ち利用者の思いに寄り添っている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 管理者の情報を基に、職員で共有している。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | 朝、夕の申し送りにより、その日の状態の把握に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1Fユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p> | <p>ケアマネジャー、管理者、職員で介護計画について、意見交換を行いながら作成している。</p> | <p>3か月毎に職員がモニタリングを行い、評価や職員の把握する情報や意見を確認し計画作成者が管理者と相談を行い介護計画を作成している。食事を自分で食べたい希望に道具を選定し食べられるようにしたり、宮島に行きたい思いに歩く力を付けられるよう散歩を取り入れ実践に繋げている。</p> | |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p> | <p>気付いた事は個別にノートに記入し、申し送りやミーティングで共有している。</p> | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p> | <p>福祉用具での支援を相談し、ご家族様の負担にならない様活用している。</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p> | <p>コロナ渦以前は、外部との関りを持っていたが、コロナ渦後は難しくなっている。 5月より再開予定です。</p> | | |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p> | <p>かかりつけ医との連携を密にしている。他科の受診の際にもかかりつけ医より紹介状を作成し利用者の状態を詳しく伝えるなど、適切な医療が受けれる支援を行っている。</p> | <p>利用開始時に協力医へ主治医の変更を行うことを基本としている。治療継続の必要性や希望があれば以前からのかかりつけ医を選択することも可能としている。歯科の訪問診療もあり、専門科への受診も家族協力を得るが、現在は感染症対策のため職員の同行にて説明を行い支援している。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1Fユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--------------------------------------|---|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。 | 看護職員に日常での気づきを報告し、管理者と共に主治医に報告し支援してる。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院先に利用者の情報を提供し、病院からの相談にも適切に対応している。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | 事前に支援についての説明と確認を行っている。 | 利用開始時に重度化した場合の介護についての同意書を説明し事業所の方針を共有している。看取りも行う方針であり、状態変化の様子を見ながら相談を行っていき、意向を尊重しながら支援を行っている。重度化した状態や医療が必要な場合は必要に応じて適宜関係機関に繋げている。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。 | その場その場での対応の指示は行っているが、定期的な訓練は出来ていない。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 | 定期的に避難訓練を行っている。コロナ禍にて地域との協力体制は取れず。 | 年2回避難訓練を実施している。その内1回は夜間想定にて行っている。事業所は水害が想定される地域であり、災害別のマニュアルの整備や、垂直避難訓練をはじめ、有事には土嚢を積むことなど対応を行っている。備蓄も3日以上分の備えを整えている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1Fユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|---|---|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | 職員同士で接遇について適切に行えているか声掛けを行っている。 | 一人ひとりの思いを尊重し、選択肢の持てる声掛けや働きかけを意識している。接遇についてもミーティングや気になる時があれば都度情報共有や意見交換を行い職員同士適切に行えているか確認ができる関係性を構築している。法人として令和5年度は接遇に力を入れ取り組んでいる。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | 日頃から利用者とコミュニケーションを図り、本人が希望を伝えやすい様な関係作りに努めている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 利用者の要望によっては入浴日を柔軟に変更したり、その日の希望に沿える様に支援している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | 季節に合わせて衣服を調整し、訪問美容を活用している。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | コロナ禍により準備や片付けを感染症対策のため一緒にできなかった。苦手な食べ物は提供せず、毎週水曜日はいつもとは違う麺類等の食事を提供している。 | 法人で食事を作る工場を立ち上げており、そこから配食という形で三食を提供している。利用者から食べたいものなど意向があれば、時に配食を変更しお寿司やハンバーガーの購入や、デリバリーを頼むなど、工夫を交え支援を行っている。毎月の給食会議にも意見提案し反映させている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1Fユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p> | <p>利用者1人1人に応じた食事形態やカロリーで支援している。</p> | | |
| 42 | | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p> | <p>毎食後、口腔ケアを行い、義歯のある方は着脱を確認し支援している。</p> | | |
| 43 | 16 | <p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p> | <p>排泄記録を確認し、声掛けを行い、トイレ誘導を行い、清潔に保てる様に支援している。</p> | <p>排泄記録をタブレットに入力し、一人ひとりの状況や統計、パターンを把握し、支援を行っている。オムツの効果的な当て方や使用方法を研修で学ぶなど、オムツの費用も軽減できるように意識し努めている。</p> | |
| 44 | | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p> | <p>水分摂取を促し、適切な運動を日々の生活に取り入れている。</p> | | |
| 45 | 17 | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p> | <p>職員が声掛けを行い、その日の体調や本人の意向に沿わない時は、時間や曜日を変更し、本人の希望に沿って温度調整を行っている。</p> | <p>週2回午前中の中の入浴を基本としている。好みの湯加減や長湯など利用者の状態を観察しながらできる限り要望に沿える入浴となるよう取り組んでいる。一階ユニットには特浴も備えており、必要に応じて活用し利用者一人ひとりがそれぞれゆっくり入浴を楽しめるように支援している。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1Fユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p> | <p>利用者の意向に沿って休息をとり、居室内の温度を調整し、環境作りを行っている。</p> | | |
| 47 | | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p> | <p>薬の変更がある時は看護師から報告があり、説明を受け、変更を報告している。</p> | | |
| 48 | | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p> | <p>毎月1回はイベントを行い、日々の生活に変化をもたらし、気分転換を測っている。</p> | | |
| 49 | 18 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p> | <p>コロナ渦にて外出には制限があったが3月より面会緩和にて近くの公園へ散歩に出る事ができている。</p> | <p>感染症対策のため外出が困難な時期が継続していたが、3月より面会など規制が緩和され、近くの公園に桜を見に行くことができている。日常的にテラスでのんびりと日光浴を行っており、今後はウッドデッキなどの整備も検討を進めておりバーベキューなどの企画もしている。</p> | |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p> | <p>施設で管理し、必要に応じて使用できる。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1Fユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p> | <p>また、ご家族から電話があった場合、本人に代わることも多くありました。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | <p>全ての場所で一定の明るさを保ち、温度調整を行っている。季節感のある壁紙を利用者として作成している。</p> | <p>リビングは日差しが入り明るい空間である。現在も2階にソファを入れることを検討し利用者が好きな場所を増やしていける取り組みを進めている。壁面には季節の貼り絵など壁紙や書道や俳句などの作品を掲示し季節感やアットホームな雰囲気が感じられるよう意識している。</p> | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p> | <p>座席を完全には固定せずに、好きな場所で過ごして頂いている。</p> | | |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | <p>今まで、利用者が使用していた物をご持参頂き、安心して過ごして頂いている。</p> | <p>各居室にテレビやベッドが備え付けである。自宅での生活の環境や様子を家族に確認し、使い慣れた家具や調度品を自由に持参してもらい住み慣れた環境に近づけ、写真や作品を飾るなど心地よく安心して過ごせるよう整備している。ベッドの位置も利用者の状態に合わせて設置している。</p> | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p> | <p>不要な物は動線外に片付け、安全に生活できる様に支援している。</p> | | |

| V アウトカム項目(1Fユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います | | | |
|---|--|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 | ○ | ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない |

| | | | |
|----|---|---|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | <input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない |
| 66 | 職員は、生き生きと働けている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2Fユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 | 理念を職員が見えるところに貼り、共有している。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | コロナ禍以前は、地域のイベントに参加させて頂いていた。こちらも5月より再開していく予定です。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | コロナ禍により地域の方々と直接お会いする事がなくなり出来ていない。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 運営推進会議は開催出来ていないが、活動状況報告書をお配りしている。 | | |
| 5 | 4 | ○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。 | 報告書により、施設の状況を説明する様になっている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2Fユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 1人の判断では行わない様にし、職員間で身体拘束にならない介護について話をしている。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | 虐待についての研修や、ミーティングを行っており、職員全員理解している。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。 | 成年後見制度について学ぶ機会を設けていなかった。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 利用者や家族の疑問点には、理解と納得いただけるまで説明している。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 伺った意見や要望を管理者を通じて必要な方々へ報告し、反映している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2Fユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | ミーティングや個別での面談を含め、聞く機会を設け少しずつではあるが反映されている。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | 代表者または上司が直接職員の意見に耳を傾けて、職場環境の改善を行って頂いている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | 社内研修の開催やスキルアップ支援を行って頂いている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | 外部の研修参加に対して補助を出して頂いたりと支援して頂いている。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。 | 事前に本人、ご家族様から要望を聞き対応し、職員に周知を測っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2Fユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。 | 事前のモニタリングや施設見学で実際に施設をご覧頂き、不安解消に努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | 施設見学や事前の面談を行い、入所に至る経緯等を伺い安心して頂ける様にしている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。 | 日常生活において、出来る事は共に行って頂いている。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。 | 家族からの要望に対して管理者を通じて職員に報告し、日々の様子を定期的に連絡している。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | コロナ渦で外部との関りが難しかったですが、3月より面会を再開出来たことでとても喜ばれている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2Fユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | 利用者のADLに応じた席の配置にし、お互いがコミュニケーションをとれる様になっている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | サービス終了後に支援を行う事はなかった。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 利用者の思いをケアカンファで行い、職員間で共有しケアに努めている。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 職員が1人1人が事前情報を基にケアを行い、実際のケアの中で得た情報を共有している。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | 管理者の情報を基に、職員で共有している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2Fユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p> | 朝、夕の申し送りにより、その日の状態の把握に努めている。 | | |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p> | 日々の細かい変化について記録に残し、申し送りやミーティングで情報を共有している。 | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p> | 家族や主治医の要望があれば外部からの訪問マッサージなどを活用し支援している。 | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p> | コロナ渦以前は、外部との関りを持っていたが、コロナ渦後は難しくなっている。5月より再開予定です。 | | |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p> | かかりつけ医と施設の主治医との連携を密にし、支援を継続している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2Fユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。 | 日々の変化を介護職員、看護職員、管理者、主治医へと報告し、家族に支援している。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院先には利用者の施設での情報を提供し、退院後の生活を確認している。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | 契約時に家族等と終末期について確認し、変化に応じて確認している。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。 | その場その場での対応の指示は行っているが、定期的な訓練は出来ていない。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 | 定期的に避難訓練を行っている。 コロナ禍にて地域との協力体制は取れず。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2Fユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | 利用者1人1人の尊厳を大切に言葉かけをし、職員間でも徹底している。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | 日頃から利用者とコミュニケーションを測り、本人が希望を伝えやすい様な関係作りに努めている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 利用者のその日の状態や希望を優先し、共に施設で過ごせる様にしている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | 季節に合わせて衣服を調整し、訪問美容を活用している。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | コロナ禍により準備や片付けを感染症対策のため一緒にできなかった。 苦手な食べ物は提供せず、毎週水曜日はいつもとは違う麺類等の食事を提供している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2Fユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p> | 利用者1人1人に応じた食事形態やカロリーで支援している。 | | |
| 42 | | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p> | 定期的な訪問歯科により口腔状態を確認し、口腔ケア後も職員で確認している。 | | |
| 43 | 16 | <p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p> | 排泄記録を確認し、声掛けを行い、トイレ誘導を行い、清潔に保てる様に支援している。 | | |
| 44 | | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p> | 水分摂取を促し、適切な運動を日々の生活に取り入れている。 | | |
| 45 | 17 | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p> | 職員が声掛けを行い、その日の体調や本人の意向に沿わない時は、時間や曜日を変更し、本人の希望に沿って温度調整を行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2Fユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。 | 就寝時間を固定せず、状態に応じて就寝介助を行い、居室の温度管理を行っている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | 薬の変更がある時は看護師から報告があり、説明を受け、変更を報告している。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。 | 毎月1回はイベントを行い、日々の生活に変化をもたらし、気分転換を測っている。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | コロナ渦にて外出には制限があったが3月より面会緩和にて近くの公園へ散歩に出る事ができている。 | | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | お金は施設で管理しているか、必要に応じて使用できる様にしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2Fユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | ご本人自ら電話されている方もいます。また、ご家族から電話があった場合、本人に代わることも多くありました。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 動線用に不要な物を置かず、安心して生活出来る様にし、季節に応じた飾りつけに力を入れている。 | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | 利用者同士で自由に会話できる様に席の配置に捉われず過ごして頂いている。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 今まで使用していたタンス等を持参頂き、居室には好みの物を置いて頂いている。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | 手すりの設置や引き戸にして安全に配慮し、事故防止に努めている。 | | |

| V アウトカム項目(2Fユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います | | | |
|---|--|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 | ○ | ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない |

| | | | |
|----|---|---|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | <input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない |
| 66 | 職員は、生き生きと働けている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム金太郎

作成日 令和5年6月11日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点, 課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|------------------|------------------------|--|------------|
| 1 | 4 | 運営推進会議の開催。 | 各関係者からの意見が集約できるよう工夫する。 | 感染症対策等諸事情により開催が難しくなった場合、各関係者から意見を頂けるよう事前に書面で質問・相談事項を設ける。 | 12ヶ月 |
| 2 | 49 | 日常的に外出支援ができていない。 | 日常の中で外出支援ができるようになる。 | 近場の散歩から始め、季節ごとや地域のイベント開催時に積極的に外出支援をする。 (地域のイベント等情報を集める) | 12ヶ月 |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。